

5 江戸川区男女共同参画推進計画に掲載されていない事業等に関する推進会議委員の意見等

No	事業目的等	推進会議委員の意見等
1	プレコンセプションケア支援	<p>【推進会議委員の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区議会で、プレコンセプションケアについて、アプリを活用し普及啓発に努めていくと聞いた。子どもたちに対して、子どもたち自身の健康や人生や性について情報発信をしていくという施策は素晴らしいと感動した。自分の体について不安や悩みを抱えるLGBTの子どもたちは多いので、そういった子どもたちにも情報を得やすいような作りをしていただきたい。 ・（区説明）プレコンセプションケアは、従来の性教育とは異なり、パートナーとどう関係を結んでいくか、いつ妊娠するか等、自分の生き方を自分で決めるという、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の観点での事項である。リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、子どもだけでなく、大人にとっても非常に重要であるため、総務課の啓発講座等でも取り上げている。
2	生理の貧困解消	<p>【推進会議委員の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生理の貧困への支援として、江戸川区ではアプリを使用して無料での生理用品配布があり、素晴らしい活動だと思い応援している。新庁舎でもぜひ取り組んでほしい。また、思い悩んで万引き等に走るということがないように、周知も頑張ってください。
3	ひきこもり支援	<p>【推進会議委員の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種々ひきこもり支援事業が行われていると思うが、中高年の方への支援は、なかなか解決に結びつかず、難しい問題だと感じる。私は、ひきこもりの方について、介護サービスを受ける方のご家族への支援をしている。ひきこもりの方を直接支援している、ひきこもり施策係と連携を取っているが、うまく解決に結びつかず悩んでいる。年金暮らしの親が、ひきこもりの方を経済的に支えているという状況にあり、親がなくなったらどうなるのかという不安が大きい。 ・（区説明）ひきこもり支援については、生活援護第一課ひきこもり施策係が担当している。ひきこもり実態調査を行い、相談支援等につなげていっていると聞いている。ひきこもり支援については区ホームページにも掲載している。

No	事業目的等	推進会議委員の意見等
4	ヤングケアラー支援	<p>【推進会議委員の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ぜひヤングケアラーについても取り組んでいただきたい。 • (区説明) ヤングケアラーについては、社会的に問題意識が高くなっている。江戸川区としても、教育委員会と執行部で連携して複数の部署で取り組んでいる。 • ヤングケアラーの支援強化に向け、中学校全生徒と教員が面接を行った。本校では1学期にすべての在籍児童と面接を行った。面接の中で、特に心配な児童については更に深く聞き取りを行い、教育研究所のスクールソーシャルワーカーにつなげている。 • 東葛西でヤングケアラーの居場所作りに取り組んでいる団体の活動の様子を見て、そこの職員に具体的な取組についての話を聞き、素晴らしいと思った。 <p>ヤングケアラーの子どもたちが放課後にそこに寄って勉強ができたり、相談したり、母子家庭のお母さんがうつ病でご飯を作れないというような子どもたちのために、お弁当を100円で提供したりといった活動をしていた。</p> <p>有志の方がそういった活動をしているが、区としての支援や広報等の取組はあるのか。</p> <p>市民活動をしている人と、サポートしたいと思う人とをうまく繋げられる仕組みがあったらいいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小学校PTA連合協議会で、「一般社団法人ケアラーパートナー木の根っこ」を講師に招き、PTAと教員を対象に、ヤングケアラーについての講演会を開催した。 <p>ヤングケアラーを知らない人も多かったが、ヤングケアラーがどういったものかについて学ぶ機会になった。</p> <p>ヤングケアラーというのは非常にデリケートな問題だと感じた。</p> <p>自分がヤングケアラーだと気づいている子どもは、ほほいしない。</p> <p>当たり前な日常として、自分よりも幼い子の世話をしたり、親や祖父母の手伝いをしている延長が、周りから見たら行き過ぎたケアをしていると学んだ。</p> <p>「頑張ってお手伝いして偉い」だとか「頑張ってるからこれが当たり前なんだ」と思っている子どもたちが多い中で、どういった支援ができるか考えていかないといけないという話し合いにもなった。</p> <p>地域や学校などで、何か相談事があったら寄り添えるような場所を作っていくという施策が必要なのかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (区説明) 江戸川区としても、ヤングケアラーについて様々な支援を行っている。 <p>児童相談所の相談課が取り組んでおり、「ヤングケアラー支援コーディネーター」を配置している。</p> <p>様々な関係機関と連携しながら様々な支援を行っており、区ホームページでも紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヤングケアラーはデリケートな問題であり、ヤングケアラー本人が「支援を受けられるんだ」と認識できるように発信することは難しいと思う。 <p>推進会議の中で、区民の代表がこの問題に関心を持っているということは、それだけ大きな問題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヤングケアラーは本当にデリケートな問題だと痛感している。 <p>子どもに対し、保護者の方に相談しましょうかと言っても、どの子どもも嫌がり、結局保護者には伝えていない。</p> <p>ヤングケアラーとして深刻な状況の子どもは、助けを求め、児童相談所の一時保護等の形で親と引き離されることになると思う。</p> <p>ただ、そこまでいかない子どもに関しては、この状況を親に相談したうえで、家庭で一緒に生活することになる。</p>
5	各事業のPRについて	<p>【推進会議委員の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 行政の施策は男女共同参画を含めて多岐に渡っており、様々な考えて良い政策をやっていたらいいと思っている。ただ、どこまで周知をしているかという点に疑問がある。 <p>これだけ良い内容なのだから、より多くの区民に事業を利用していただけるように、啓発活動や各事業のPRに力を入れることが重要ではないかと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (区説明) 各所管にて様々な媒体にて周知しているが、各事業を利用していただくことが重要なのでより周知していきたい。